

令和6年6月17日

校内弁論大会 挨拶（抜粋）

本日、私は、弁士それぞれの物事の認識が高く、論理的かつ表現する力を持っているかを楽しみに聴きたいと思っています。

そのためにも、直前ではありますが、私から弁士の皆さんにお話する際のアドバイスを一つしたいと思います。

それは、「^ま間を大切にする」ということです。

言葉をシャワーの様に連続して浴びせても、聞く側は、表面をただ流れるだけで、浸透させることは難しいでしょう。

同じことを話すにも、句読点の^ま間をいつもより意識して空けることで、聞く側の理解が深まることと思います。

これは、面接試験の時にも役立ちますので、皆さん、覚えていてください。

最後に、弁士の皆さんが、この日のために練習した成果が発揮できることを祈念すると同時に、聞き手の態度と一体となり、この弁論大会が意義有るものになることを期待して、私からの挨拶といたします。